

新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の猛威は、国内においても依然、予断を許さない状況が続いています。コロナ禍において、感染への不安や緊張の中、医療・福祉をはじめ地域の安全安心を守るためのお仕事に従事されている皆さまに、敬意を表するとともにそのご尽力に心より感謝申し上げます。

本市では、市民の皆さまへの生活支援や雇用対策、事業者に向けての経済支援で景気の下支えを行い、特に未来を担う世代と地域の産業活力の維持を意識した支援に力を入れてまいりました。今後も引き続き国や県と連携を図りながら、迅速かつ的確な市民生活や経済活動の支援を進めてまいります。

去年は、4月にデンパークフローラルプレイスを、8月にスポーツセンターをリニューアルオープンし、コロナの緊急事態宣言解除後には多くのお客さまにお越しいただきました。幸いなことにコロナ禍においても地域の経済活動は比較的堅調であり、本市としては引き続き民間との連携を図り、新たな経済活力やまち

の賑わいに繋がる事業を積極的に進め、魅力あるまちづくりに努めてまいります。

今年、3月に名鉄新安城駅が橋上化され利便性の向上が図られるとともに、9月からは移転整備される北部学校給食共同調理場において、安全でおいしい学校給食の提供が始まります。また、令和3年末までには、安城更生病院の新棟が完成し、地域医療の充実が図られます。さらに、中心市街地では高層マンション、オフィスビル、ビジネスホテル等の複合施設「デンシティ」の建設が令和3年度末の竣工に向けて進められています。

本市では、第8次総合計画において、目指す都市像に「幸せつながる健幸都市 安城」を掲げています。令和2年度から5年度までの後期計画では、持続可能な開発目標「SDGs」の視点を取り入れています。

先行き不透明感の漂う世相ですが、引き続き明るい話題の提供に努めるとともに、市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できる“ケンサチ(健幸)”のまちの実現を図ってまいります。

安城市長 神谷 学



明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。新春を^{ことほ}ぎ、市議会を代表しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年から新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いています。あらためまして、今回の感染症でお亡くなりになられた方々に、衷心より哀悼の誠を捧げます。そして、このウイルスとの闘いの最前線で日夜奮闘していただいている医療・介護従事者の皆さまをはじめ、多くの方々の献身的なご尽力のおかげで、現在の私たちの暮らしが成り立っていることに深く敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。また、市民の皆さまにも、感染拡大の防止にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、医療現場や経済活動への影響だけでなく、新たな生活様式

や価値観の広がり等、多方面に影響し、様々な変化をもたらしています。ウィズコロナ、ポストコロナ時代を見据え、今後、地方自治体も施策の方向性を的確に変化させて、新たな日常の実現に向けて必要な取り組みを進めていく必要があります。

コロナ禍では、先進諸国と比べて日本のデジタル化が遅れていることが明確となりました。政府は、今後我が国の社会全体のデジタル化を強力に推進しようとしています。デジタル化は、生産性を引き上げ、今後の経済成長を主導するとともに、より便利で豊かな生活を実現する上で重要な役割を担うと考えられます。安城市議会としましても、引き続き感染防止対策を講じるとともに、今後、こうしたポストコロナ時代の流れに乗り遅れることなく、ピンチをチャンスに変え、活力ある未来を創っていききたいと思います。

結びにあたり、本年が皆さまにとって幸多き年となりますようご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

安城市議会議員 大屋 明仁